

国民スポーツ大会施設基準

国民スポーツ大会開催基準要項細則第2項に定める施設基準について、競技ごとの施設基準は以下のとおりとする。

なお、本施設基準は、会場地市町村等が各競技場を整備する上での基準であり、開催県及び市町村等において各中央競技団体との調整を行い弾力的に運用できるものとする。

本基準の改廃については、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

【国民スポーツ大会冬季大会】

競 技	基 準	摘 要
スキー	ジャンプ台ヒルサイズは80m以上1、 クロスカントリーコース男子15km(周回でもよい)、 女子5km各1、ジャイアントスラロームコース1又は2	原則として2会場とし、開催地の都合で3会場に分かれてもよい。 ジャンプ台について、ヒルサイズが80mに満たない場合は全日本スキー連盟において協議する。L点角度については、ヒルサイズ85m以上は31度以上とし、ヒルサイズ85m未満の場合は全日本スキー連盟において協議する。
スケート	スピードスケートリンク1周400m1、 屋内フィギュアスケートリンク1面	2会場地に分かれてもよい。
アイスホッケー	アイスホッケーリンク3面 (うち屋内2面、豪雪対策用1面)	2会場地以上に分かれてもよい。 開催地で対応できない場合は近接県又はブロック内の施設で行うことができる。

【国民スポーツ大会】

競 技	基 準	摘 要
総合開・閉会式	式典会場は、観覧席が仮設スタンドを含み、約3万人を収容できる施設 屋外の式典会場の場合は、雨天対策用として体育館1	
陸上競技	日本陸上競技連盟公認の1種競技場1	1周400mのサブトラック1、投てき練習場1
水泳	日本水泳連盟公認のプール 1. 競泳用50mプール1(隣接して25m補助プール1) 2. 飛込、アーティスティックスイミング用プール1 (飛込用として10mの固定台と3mの飛板を備えていること。) 3. 水球用プール1	左記1,2,3は、至近距離にある異なった会場であることが望ましい。
サッカー	規定の競技場芝生7面以上	2会場地以上に分かれてもよい。 原則、天然芝とするが、全3面までJFA公認人工芝ピッチの使用を可能とする。
テニス	規定のコート20面	2会場地に分かれる際は24面とする。
ローイング	1,000mの5コースを有する水路1、艇庫1(仮設でもよい。) 回漕用として1コース程度を付設する水路	
ホッケー	規定の競技場2面	

競 技	基 準	摘 要
ボクシング	規定のリング 2 面を設置することができる体育館 1 (床面積：縦 40m 以上×横 35m 以上) 検診、計量会場、医療室、グローブング室、選手練習場などの付帯施設	
バレーボール	規定の屋内コート 8 面	2 会場地以上に分かれてもよい。体育館の天井の高さは 10m 以上が望ましいが、7m 以上あればよい。
体操	規定の各器具を設置することができる体育館 1	2 会場地に分かれてもよい。
バスケットボール	規定の屋内コート 10 面	近接であれば 2 会場地以上に分かれてもよい。
レスリング	規定のマット 4 面を設置することができる体育館 1	
セーリング	日本セーリング連盟が適当と認める水域 1 (2 海面) ヨットハーバー、艇庫及び競技運営棟 (仮設でもよい)	
ウェイトリフティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技会場は下記のいずれかとする。 ① 規定のプラットフォーム 1 面を設置することができる施設 1 ② 規定のプラットフォーム 2 面を設置することができる施設 1 ③ 規定のプラットフォーム 1 面を設置することができる施設 2 ・ ウォーミングアップ場を各施設に 1 (8 セット以上のバーベルとプラットフォーム) ・ 練習会場 1 (10 セット以上のバーベルと練習用プラットフォーム) 	③ の場合は両施設が近接していることが望ましい。 競技日程は、競技会場が①の場合は 5 日間、②あるいは③の場合は 3 日間とする。
ハンドボール	規定の屋内競技場 6 面	2 会場地に分かれてもよい。体育館の天井の高さは 10m 以上が望ましいが、7m 以上あればよい。
自転車	規定の競技場 1、 規定のロードレースコース (1 周の周長が少なくとも 10 km 以上であり、10~15 km を原則とする周回ロードコース)	
ソフトテニス	規定のコート 16 面	2 会場地に分かれてもよい。
卓球	規定のコート 12 面 (予備コート 2 面を含む) を設置することができる体育館 1	2 会場地に分離して開催する場合は、各体育館に規定のコート 8 面を設置する。
軟式野球	規定の野球場 5 面	2 会場地以上に分かれていてもよい。 2 会場地以上に分かれる場合は 6 面とする。
相撲	規定の競技場 1	

競 技	基 準	摘 要
馬術	障害馬術競技場 1 面 70m×50m(楕円形でも可)、別途ダートコースを隣接する。 障害練習場 2 面 (うち 1 面は競技場隣接) 馬場馬術競技場 1 面 90m×50m 馬場馬術練習場 2 面 (うち 1 面は隣接) 厩舎 227 馬房(1 馬房 3m×3m) 隔離厩舎 2 馬房 (1 馬房 4m×4m) ホースマネージャー宿舎 47 名収容(各県 1 名男女別)	各施設は仮設並びにリースでもよい。
フェンシング	規定のピスト 8 面を設置することができる体育館 1	開催時期により空調施設を有することが望ましい。
柔道	規定の競技場 3 面を有する柔道場又は体育館 1 試合会場に隣接した練習場 1 (150 畳程度)	試合場は原則として床面に直接畳を設置する。ただし、床面が固く、弾力が無い場合はかさ上げをするなど、選手の安全を考慮して設置する。
ソフトボール	規定の競技場 8 面	2 会場地以上に分かれてもよい。
バドミントン	規定のコート 8 面を有する体育館 1	2 会場に分かれてもよい。 体育館の天井の高さは 12m 以上あればよい。
弓道	規定の弓道場 1、遠的競技場 1(仮設でもよい。)	
ライフル射撃	規定のライフル射撃場(エア・ライフル 26 射座 1、スモールボア・ライフル 24 射座 1、ピストル 18 射座 1、光線銃 13 射座の体育館 1)	2 会場地以上に分かれてもよい。 エア・ライフル、スモールボア・ライフルとも電子標的装置とすることが望ましい。
剣道	規定の競技場 2 面を有する剣道場又は体育館 1	
ラグビーフットボール	規定の競技場 3 面(うち芝生の競技場 2 面)	2 会場地に分かれてもよい。
スポーツクライミング	日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダリング施設	高さ 12m 以上、ルート長さ 15m 以上の幅 3m 以上のルートを同時に 2 本以上設定できるリード施設 高さ 5m、面積 60 m ² のボルダリング施設 2 基。 1 会場で実施
カヌー	1. カヌースプリント 日本カヌー連盟が適当と認める幅 101m 以上を有する 500m 以上のコース 1、艇庫 1 (艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい。) 2. カヌースラローム、カヌーワイルドウォーター 日本カヌー連盟が適当と認める河川 1、艇庫 1 (艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい。)	2 会場地以上に分かれてもよい。
アーチェリー	70mの射程距離を有する施設 1	
空手道	規定の競技場 4 面を有する空手道場又は体育館 1	
銃剣道	規定の競技場 2 面を有する体育館 1	
クレール射撃	規定の射場トラップ 1 面、スキート 1 面	
なぎなた	規定のコート 2 面を有する体育館又は武道館 1	

競 技	基 準	摘 要
ボウリング	JBC公認競技場とし、競技場のレーン数に応じて、競技日数は以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・1会場で40以上のレーンを有する場合は、競技日数は5日間以内とする。 ・1会場で34～38のレーンを有する場合は、競技日数は6日間以内とする。 ・2会場で、それぞれ32以下のレーンを有する場合は、競技日数は5日間以内とする。 	2会場地に分かれてもよい。 使用ピンは、JBC認証ピンであること。
ゴルフ	日本ゴルフ協会が開催を可能と認めた54ホール(3コース)の施設を有する競技場	2会場地以上に分かれてもよい。
トライアスロン	規定のコース(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)	スプリントディスタンス(スイム0.75km、バイク20km、ラン5km)でも可能とする。

【特別競技】

競 技	基 準	摘 要
高等学校野球	規定の野球場3面	2会場地に分かれてもよい。

【「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」に基づく実施競技】

競 技	基 準	摘 要
水泳 (オープンウォーター スイミング)	規定のコース(5km)	
バレーボール (ビーチバレーボ ール)	規定のコート4面、練習コート1面(男女共有)	2会場に分かれてもよい。 プレイゾーン上空は、ネットの上端から10m以内に障害物がないこと。
体操 (トランポリン)	規定のトランポリン器具や安全マットなどが設置できる体育館1	天井高は10m以上が望ましい。 トランポリン器具周辺の安全マットの厚さの基準は20cmとする。

(注) 1. 「規定」とは、各競技団体の定める規定をいう。